

## 決算特別委員会

# PDCAサイクルで未来へ生かす

予算（Plan）・執行（Do）・検証（Check）・編成（Action）

委員長 小形 輝雄  
副委員長 菅原 隆男

### 決算特別委員会とは

議会が決定した予算が適正に執行されたかを審査するとともに、その行政効果や経済効果を精査し、住民に代わって評価します。審査の結果は、後年度の予算編成や行政執行に生かされます。

構成委員は、遠藤議長と山田監査委員を除く全議員です。

**実質収支（繰越金）が多い原因は**  
**関委員** 実質収支比率16%だが、望ましい割合は。繰越金が多く適切な予算管理ができていないのでは。

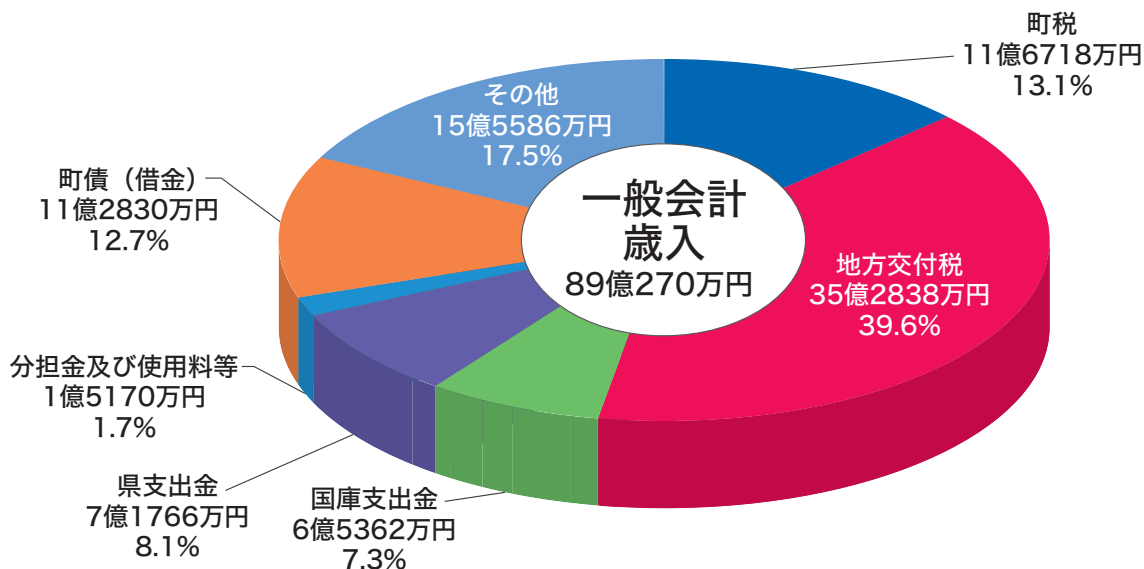
## 質 疑

## 歳 入 （町の収入）

**総務課長** 3〜5%が望ましいと認識している。当初予算の歳入では、厳しい見方をせざるを得ない状況であり、補正財源で住民の行政需要にこたえていきたい。

**固定資産税の滞納繰越状況は**  
**佐藤委員** 滞納繰越額から収入予算額を計上した根拠と、納税義務者が居ない又は不明の件数は。

**税務出納課長** 滞納繰越額の予算計上については、滞納全体の金額に対して例年ベースの収納率を見込み計上している。  
 相続人がわからないとか、会社が倒産して納付書を送れないといった数があり、27年度は13件であった。



（万円未満は端数を調整しています。）